

議員提出議案第7号

保育の質の向上を求める要望書提出について

別紙要望書を大口町議会会議規則第13条の規定により提出する。

平成24年9月25日提出

提出者 大口町議会議員 吉田 正

賛成者 大口町議会議員 江幡満世志

保育の質の向上を求める要望書

女性の社会進出や就労形態の変化などに伴い保育ニーズが多様化しており、本町においても延長保育の拡大、休日保育など保育サービスの充実が求められている。

今回、町は、保育のメニューの内容の拡大、質の向上を『大義』に、中保育園を民営化するという、急で一方向的な方針を決定した。しかし、町が行った「今後における保育運営説明会」の会場で、民営化に賛成の保護者の意見は皆無だった。保護者は、いろいろな条件を加味して保育園を選んでおり、変えないでほしいというのが本心である。

保育をはじめ多様化する子育てニーズに対応するには、保護者や地域の協力を得ながら、限りある財源や社会資源を効果的に活用することが不可欠である。中保育園の保護者をはじめ多くの町民から民営化白紙撤回を求める請願書が提出されたことを鑑み、町保育行政に対する保護者の信頼を損ねることのないよう、下記の事項を要望する。

記

- 1 平成 26 年 4 月から民営化するのではなく、10 月の入園説明会に運営方針、法人を公表、決定できない以上、来年度入園する児童が卒園する平成 28 年 4 月以降に民営化を検討すること。
- 2 民営化への説明不足、情報公開不足を直ちに解消すること。
- 3 今後、保育園の民営化を進めるにあたって、町単独で進めるのではなく、保護者と話し合い同意を得ながらすすめること。
- 4 延長保育の拡大ニーズに伴い、延長保育は午後 7 時まで行うこと。
- 5 保育の質を保ち、向上させるための「チェック機構」などによって、保育の質を下げないための、そして現状の保育の質も向上させるシステム作りを、住民である保護者の参加のもとに行うこと。

平成 24 年 9 月 25 日

大口町議会

(提出先) 大口町長 森 進